

災害時の感染症対策

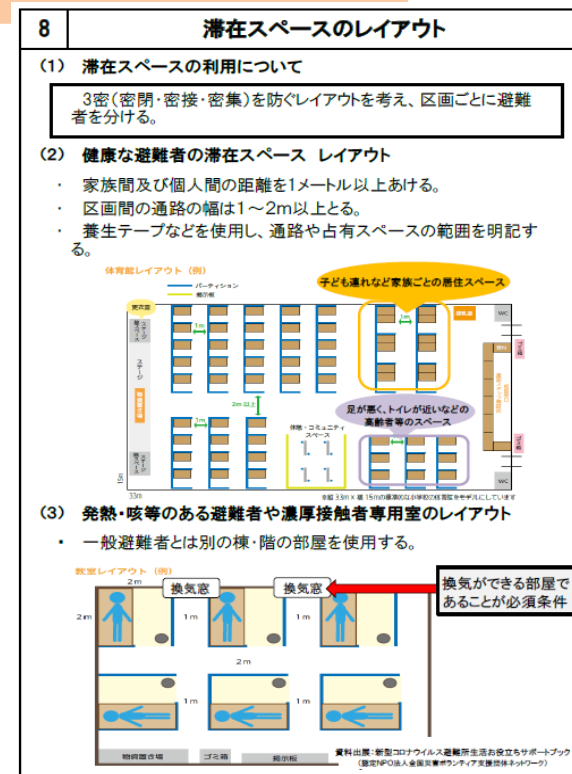
～避難所における感染症拡大の防止と避難の分散化を推進～

区では、新型コロナウイルス感染症が収束しない中、切迫する首都直下地震や台風シーズンに備え、避難所内での対応や、避難の分散化による感染拡大抑止のための取組を進めています。

1 避難所の感染症対策について

・三密(密閉・密集・密接)となりやすい避難所内の感染予防を図るため、感染症対策のあり方についてとりまとめました。

・とりまとめにあたり、区内全地域の避難所運営管理協議会の代表者との意見交換や、区職員による避難所での検証を行いました。今後、各避難所の実情に応じ、既存の各避難所運営管理マニュアルに反映していきます。



避難所運営管理協議会代表者との意見交換の様子



・全避難所(51か所)に感染症予防対策用品の配備を行いました。

マスク、手指消毒液、フェイスシールド、簡易防護服、ゴム手袋、非接触型温度計 他



2 民間宿泊施設との連携による避難先の確保

避難所内での三密による新型コロナウイルス感染症予防抑制と、感染すると重症化するリスクの高い避難者の受け入れ先の確保を目的として、区内のホテル等と施設の利用に関する協定に向けた協議を進めています。



3 在宅避難等による避難の分散化の推進



自宅が無事であれば、避難所へは行かずに自宅で過ごす「在宅避難」とあわせ、親戚や知人を頼る「縁故避難」など、避難所での3密を防ぐため、避難の分散化を進めます。